

と嘉慶 がしやう 繙譯官。弘化三年生れ、明治十一年歿（一八四六—五）。
幼名廣作。父の任地暇夷に滞在し、外國人宣教師に就き洋學を習得。
文久元年竹内下野守と正侯とすむ遣歐使節に定役並通詞として隨行。
歸國後外國官一等譯官を経て、明治二年外務省大譯官、文書權正とな
り翌年退官。次々大藏省に入り記録頭として海外視察に赴くこと數度、
のち九十五銀行頭取を務めた。『蕃地所屬論』（明治七年刊）他、税
法書等の繙譯がある。國際法學者と作太郎の實父。